

中学歴史プリント（過去問類似）

奈良時代

名前

得点

/10

問1 律令制度のもと、政府が戸籍に基づいて6歳以上の人民に一定の面積の田地を割り当てた仕組みにおいて、人々に与えられた土地を何といいますか。この土地は本人の死後に国へ返還する決まりがあり、収穫高に応じて税が課されました。（2015年 岐阜公立入試 類似）

1. 口分田 2. 墾田 3. 名田 4. 荘園

問2 奈良時代の平城宮跡からは、当時の税制度の実態を示す史料が多数発見されています。地方から都へ送る産物に付けられた荷札として、送り主の住所や品目などが記された木製の板を何と呼びますか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 木簡 2. 年貢 3. 関銭 4. 鉄券

問3 飛鳥時代後期から行われた、戸籍に登録された人々に口分田を分け与え、その人が死ぬと国に返還させた土地制度はどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 班田収授法 2. 墾田永年私財法 3. 公地公民制 4. 三世一身の法

問4 飛鳥・奈良時代に行われた班田収授法の内容として、正しい説明はどれですか。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。 2. 新たに開墾した土地を永久に私有することを認めることで、農業生産の拡大を図った。 3. 土地の所有権を認め、地価に応じた金額を現金で納めさせることで国家の財源を確保した。 4. 武士に対して先祖伝来の領地の支配を認め、その代わりに軍役を課す仕組みを整えた。

問5 8世紀の奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2020年 静岡公立入試 類似）

1. 仏教による国家の安定を願い、遣唐使がもたらした唐の文化や西アジアの要素を取り入れた国際色豊かな文化。 2. かな文字が普及し、日本の風土や日本人の感情に合った、貴族中心の優雅で国風な文化。 3. 上方を中心とする豊かな町人たちの経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃などが発達した華やかな文化。 4. 禅宗の影響を受け、茶の湯や水墨画、書院造といった簡素で深い味わいをもつ東山文化。

問6 柿本人麻呂が現在の香川県坂出市にある沙弥島（しゃみじま）に立ち寄った際に詠んだ歌が収録されていることでも知られる、奈良時代の歌集「万葉集」の構成に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。 2. 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。 3. 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命で編纂され、繊細で情熱的な歌風が特徴である。 4. 漢字のへんやつくりの一部をとって作られた「カタカナ」を用いて、全ての歌が記されている。

問7 701年に制定された大宝律令に基づき、国家が土地と人民を管理するために6年ごとに作成した、人々の氏名・年齢・身分などを記録した台帳の名称として正しいものを選択してください。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 戸籍 2. 風土記 3. 万葉集 4. 日本書紀

問8 平城京に都が置かれ、貴族や僧侶の間で政治的な勢力争いが続いていた8世紀前半の社会背景において、土地制度に関する記述として正しいものを次の中から選びなさい。（2023年 山形公立入試 類似）

1. 開墾を奨励するために、新しく開墾した土地を一定期間に限って私有することを認める法令が出された。 2. 公地公民の原則を強化するために、すでに私有されていた土地をすべて国家が強制的に回収した。 3. 墾田永年私財法の制定により、農民が新しく開墾した土地を三代にわたって私有することが初めて認められた。 4. 班田収授法が完全に機能しなくなったため、政府は一切の開墾を禁止して農民を都の造営に専念させた。

問9 奈良時代、律令に基づいて人々に課された租税のうち、絹、布、糸、あるいは各地の海産物などの特産物を都まで運んで納める義務を何と呼びますか。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 租 2. 庸 3. 調 4. 雑徭

問10 奈良時代、朝廷が東北地方の支配を広げるために、現在の宮城県に設置した行政と軍事の拠点として正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 多賀城 2. 大宰府 3. 国分寺 4. 安土城

答え合わせ・解説

問1	答え 1 口分田	律令国家が「公地公民」の原則に基づき、土地と人民を直接支配するために整えた仕組みが班田収授法です。この法によって、6歳以上の男女に与えられた土地を口分田と呼びます。口分田を与えられた人々には、その面積に応じて収穫の約3%を稲で納める「租」という税の負担が義務付けられていました。
問2	答え 1 木簡	奈良時代の平城京などから出土する木札は木簡と呼ばれ、紙が貴重だった当時、荷札や伝言、記録用のメモとして広く活用されていました。特に地方から都へ納められる「調」などの税に付けられた木簡には、現在の佐賀県にあたる肥前国から「綿」が送られたことを示す記録などが残されており、律令国家の徴税の仕組みを裏付ける貴重な史料となっています。
問3	答え 1 班田収授法	唐の均田制にならって導入された制度であり、6歳以上の男女に口分田が班給された。これにより国家が土地と人民を直接支配し、税収を確保しようとした。墾田永年私財法は後に土地の私有を認めた法であり、この制度の崩壊につながった。
問4	答え 1 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。	律令国家の基本となった土地制度で、戸籍を作成することで税（租・庸・調）を課す対象を明確にしました。選択肢にある「新たに開墾した土地を永久に私有することを認める」のは、後に班田収授法が崩壊する原因ともなった墾田永年私財法の説明です。また、現金で納税する仕組みは明治時代の地租改正、武士の土地支配は中世の封建制度の特徴です。
問5	答え 1 仏教による国家の安定を願い、遣唐使がもたらした唐の文化や西アジアの要素を取り入れた国際色豊かな文化。	聖武天皇は仏教の力で国を治めようとする「鎮護国家」の思想に基づき、東大寺の大仏建立や国分寺の建立を進めた。この時期は遣唐使の往来が盛んで、唐の文化だけでなく、シルクロードを經由してインドやペルシャ（西アジア）などの文化も日本に伝わり、非常に国際色の強い文化が形成された。
問6	答え 1 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。	万葉集は、特定の階級に限定されず、天皇から庶民まで多様な身分の歌が収められているのが最大の特徴です。柿本人麻呂のような宮廷歌人が活躍する一方で、辺境の警備に駆り出された「防人」の悲哀や家族への思いを詠んだ歌も収録されており、当時の社会状況を幅広く反映しています。また、表記には漢字の意味や音を借りた「万葉仮名」が使われています。
問7	答え 1 戸籍	大宝律令によって、国家が人民を確実に把握するための仕組みが整えられました。この台帳に基づいて、6歳以上の男女には「口分田」が与えられ、その代わりに税を納める義務が課されました。選択肢にある『風土記』は地方の地理や伝承をまとめたもの、『万葉集』は日本最古の歌集であり、台帳ではありません。
問8	答え 1 開墾を奨励するために、新しく開墾した土地を一定期間に限りて私有することを認める法令が出された。	当時の記録によれば、政府は三世一身の法を制定し、新しく開墾した者に対して三代（本人・子・孫）または一代の私有を認め、開墾への意欲を高めようしました。これは、公地公民の原則（すべての土地は国家のもの）を維持しながらも、現実的な食糧不足に対処しようとした妥協案としての側面を持っています。
問9	答え 3 調	律令体制下における主要な税の一つで、地方の特産物を都に納める制度です。平城京の遺跡から発見された木簡（荷札）には、塩などがこの税として運ばれた記録が残っています。土地に対して課される「租」とは異なり、成人男性（正丁など）の個人に対して課されました。
問10	答え 1 多賀城	奈良時代の朝廷は、支配体制を全国に広げる過程で、各地に重要な拠点を置きました。現在の宮城県に築かれた多賀城は、陸奥国の国府（役所）としての行政機能と、当時「蝦夷」と呼ばれた東北地方の人々に対抗するための軍事機能を併せ持っていました。一方、九州に置かれた大宰府は外交や防衛の拠点であり、国分寺は仏教による国家鎮護を目的として全国に建立された寺院です。